

まこと新聞

発行者
高島まこと
後援会長
明石 直大
亀山市辺法寺町
205
85-1744



3月度定例議会一般質問

ご挨拶

皆様、こんにちは 高島まことです。

実は、私 物凄い花粉症でございまして今の季節は一番イヤな季節です。最近、花粉もそうですけど、中国大陸から偏西風に乗って黄砂や、やっかいなPM2.5もここ日本、亀山市に来ます。そのPM2.5について、今回の3月度定例議会一般質問で少し触れさせて頂きました。

とにかく花粉症で目は、シバシバ、鼻はグズグズ、マスクやティッシュは、手放せません。後援会の皆様 花粉症は大丈夫ですか？

さて、今回のまこと新聞 第14号は、・・・

- ～ 1. 3月度定例議会一般質問内容について
- ～ 2. 次回一般質問について
- ～ 3. ヘリポートについて

この3項目の内容について各項目別に詳しくお伝えしたいと思います。

環境対策について

高島：PM2.5についてお聞きします。ここ亀山市に於いて測定箇所と場所を教えてください。

答弁：三重県内では、19箇所24時間体制で行っています。亀山市に於いては、天神3丁目亀山みなみ保育園で測定を行っています。

高島：亀山市独自の測定機器はありますか？又、何故みなみ保育園で測定しているのか？お聞かせください。

答弁：この測定機器は、三重県のもので平成元年に大気汚染を測定するために設置しました。PM2.5に付きましては今年の4月より測定をしています。この場所を設定した経緯は、調べていませんので知りません。県がこの場所が最適だと判断して設置したと思います。尚、亀山市独自の測定機器は、有りません。

高島：標準基準の70µmを越えた場合公表方法をお聞かせください。

答弁：国が定めました暫定基準で有りまして、市としては、不要不急の外出や野外での激しい運動を減らす又、窓を閉める等の注意勧告を市内の小中学校、幼稚園や保育園に対しての連絡、安心メールやZTVを利用した緊急テロップ、関地区に於きましては、防災一斉放送等の処置を行っています。

高島：平成25年2月国の専門家に依る会議が開かれこの数値が示されました。今後この数値が越えた場合市としてどの様な処置をしていくのか市長にお尋ねしたい

市長：不要不急の外出を避ける或いは、野外での激しい運動を避けると云った注意勧告を行っていきたく考えています。

高島：判断は、各個人に委ねると云った事ですね。今後市として独自で測定機器を購入し調査報告をしていくのかお聞かせ願いたい。

市長：市独自で調査報告は、考えていません。公表については、市のホームページからリンクしています、県の測定結果を安心メール等で情報発信していきたく考えています。

LED化推進について

高島：東日本大震災から2年が経過し地域の絆が深まり防災意識もかなり浸透してきたように感じられます。又節電対策の意識の高揚も図られて来たのでは無いかと思います。そこで公共施設の節電のあり方を質問させていただきます。公共の電力の使用と云いますと小中学校、役所、街路灯や防犯灯様々な設備が有ります。中でも街路灯のLED化で有りますが、23年9月議会で質問させて頂きましたが22年現在市内で4234基の街路灯が有り1年経過でどれだけ増えたのかお聞かせ願いたい。

答弁：防犯灯ですが、平成24年度新規設置49基、LED蛍光管の交換が154基合計203基LED化は全体の7.3%でございます。街路灯に付きましては約1400基程ございますが、LED化はされていません。

高島：今後、市としてLED化推進していくのかお聞きしたい

市長：LED化は、補助金制度等を活用し積極的に推進していきたく考えています。

情報伝達方法について

高島：まず、緊急時に於ける防災自動起動設備についてこれはどの様な物かお聞かせ願いたい。

答弁：この装置は、Jアラードからの情報を緊急速報や安心メールに職員が入力、転送していたものから、自動的に迅速に行う機器でございます。

高島：中日新聞に依りますとJアラートに依るトラブルが、発生したと聞いています。訓練ですので良かったものの実際災害が発生した場合大変な事になります。昨年9月全国で284市において訓練を実施したと聞いています。
(裏面につづく)

亀山市は、訓練に参加したのかお聞きします。

答弁：今までトラブルは、有りませんでした。訓練には参加していません。

高島：自動起動装置による配信ですが、同胞無線系に何故リンクしていかないのか教えてください。

答弁：保守業者2社に依る聞き取り調査の結果施設の経過により正常に起動出来るかどうか解らない・・・との回答で有りました。その結果ケーブルテレビ、エリアメールを選択致しました。

高島：次に防災ラジオについてお伺いします。昨年7月静岡県富士市、及び藤枝市に視察に行かせて頂きました。その中で富士市の防災FMラジオですが、行政が防災に関する情報を個人が、簡単に収集出来る。非常に優れもので実に41,000台もの普及しています。1台5,500円ですが、市の補助制度も有り、防災に対する意識も高いと聞いています。亀山市に於いて、防災FMラジオの導入は、考えているのか否かお尋ねしたい。

答弁：個別受信機として非常に有効であるとともに乾電池による受信で停電時にも活躍出来る優れものであると聞いています。財政状況と勘案しながら、当市に於いても総合的に検討していきたいと考えています。

白鳥の湯について

高島：白鳥の湯についてお聞きします。年間187,798名の利用が有り、営業日数307日、1日平均612人の利用されたと聞きました。この施設の目的は温泉施設

であり、福祉施設ではない、健康増進のための施設・・・との考え方で間違い有りませんか？

答弁：この白鳥の湯は、市民の憩いの場でありまして、ゆったりと温泉を楽しむ福祉、健康向上を目的とした設備で有ります。

高島：前回市長の答弁で、利益者負担と有りますが、ご高齢の方や、体の不自由な方は、福祉目的で有り、決して受益者では有りません。市外県外からキャンピングカーで温泉に入りに来られる方、この方達は、まさしく受益者であり、福祉目的では有りません。料金見直しについて、受益者とそうで無い方の区別をハッキリすべきだと考えますが如何でしょうか？

市長：公共サービスを提供させて頂いている以上受益者と云えます。25年度に入浴料の見直しを行い一定の負担をお願いする形となります。

マニフェストについて

高島：1期目のマニフェストには、予算や期間がハッキリ示されていましたが、今回は、何一つ書かれていません。一体どうやって計画を立てて予算は幾らで、何時々迄に仕上げるのか解りません。

市長：後期基本計画に掲げる各政策を確実に着実な推進を前提に、私なりにまとめ上げたつもりです。政策公約の重みは、非常に重いものと自負しています。マニフェストの各施策の主な事業につきましては実施計画の内容と一致しますのであえて記載しませんでした。行政計画にしっかり組み込んで行きたいと思えます。

今年度の取り組みについて

亀山市住山町 老人ホーム安全の里近く
印で示しました東名阪自動車道路に架かる高架橋です。



写真をご覧ください。橋は狭くて歩道が有りません。亀山ゴルフ方面から東進しますと車道は大変広く、長い下り坂で、橋の手前は緩やかなカーブとなっています。自然とスピードも出てしまい、勢いを増したまま、東名阪自動車道高架橋に来ますと、急

に道幅が狭くなり、車がすれ違うのがやっとです。私も何回か走行しましたが、広い道路から急に狭い橋に変化しますので危なくて仕方有りません。対向車が来た時や歩行者、自転車が、通行してましたら大変危険ではないでしょうか。市として、今まで何か対策を講じて来たか、過去にその橋で大きな交通事故は発生したのか、今後橋の手前で橋の幅が狭くなる事の注意勧告の看板の設置、新しく歩道を設置する施策や、或いは高架橋を増幅して交通事故未然防止に対する計画は有るのか質問する予定です。

更に、同じ道で長い下り坂の途中、側溝に蓋が設置されていない箇所が有ります。その道は通学路でも有り自転車で走行するとスピードが出て側溝に落ちる可能性が有り、危険ではないかと思えます。

事故が起きてからでは、遅いのです。

ヘリポート承認!

平成27年度 北東部消防署建設が決定し、先日予算委員会がありました。その中で、消防署敷地内で、緊急時のヘリコプター発着場の提案をさせて頂き、承認されました。皆様に御報告致します。

安全で安心して亀山市に住んでいて良かった・・・と思えて頂ける様今後も市政に取り組んで行きたいと思えます。